

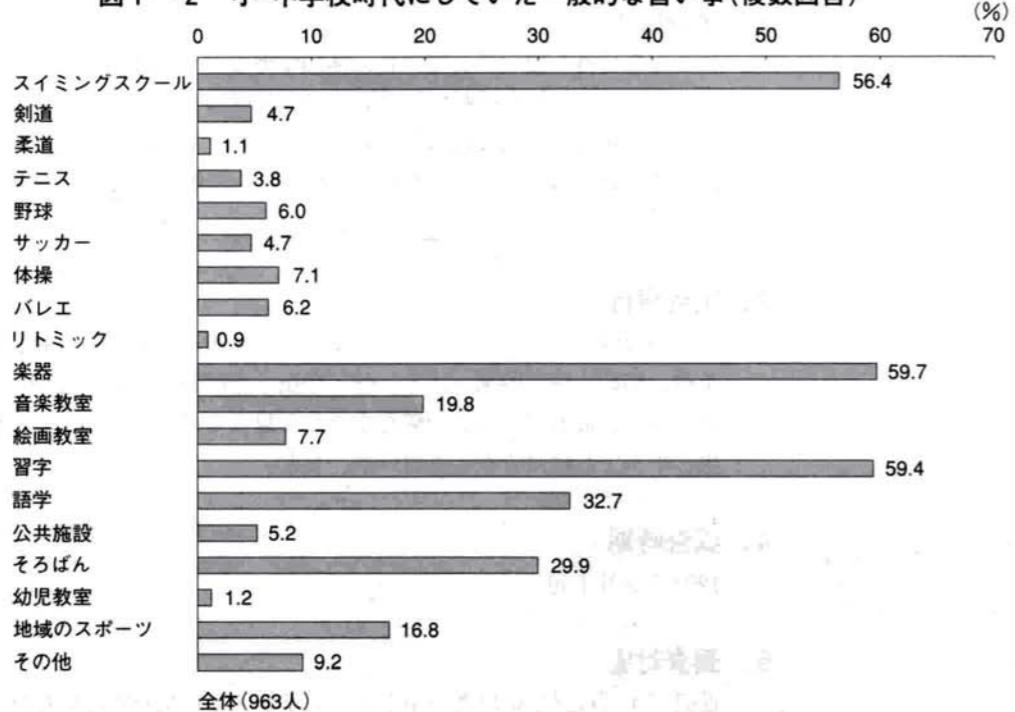
## Topic

①

●詳細はP.18~23へ

## 経験者が多く、満足度が高い「楽器」

図1-2 小・中学校時代にしていた一般的な習い事(複数回答)



### ◆一般的な習い事経験者のトップは 楽器

- ①小・中学校時代に一般的な習い事をしていた人は95.1%。
- ②経験者の多い上位5位…1位「楽器」59.7%、2位「習字」59.4%、3位「スイミングスクール」56.4%、4位「語学」32.7%、5位「そろばん」29.9%。
- ③スイミングスクールは男女を問わず経験している割合が高い。

### ◆最もやっていてよかったと思う一般的な習い事のトップも楽器

- ①経験者に占める最もよかったと思う人の割合…1位「楽器」51.3%、2位「野球」46.6%、3位「サッカー」44.4%、4位「幼稚教室」33.3%、5位「地域のスポーツチーム」30.9%。
- ②樂器は経験者が多いだけでなく、最もやっていてよかったと思う人も多い、満足度の高い習い事といえる。
- ③月謝…1万円未満が多く、男子より女子の方が月謝は高い。
- ④交通手段…自転車がトップ。自転車は男子が多く、自家用車は女子が多い。
- ⑤教室から家までの時間数…20分未満が7割。

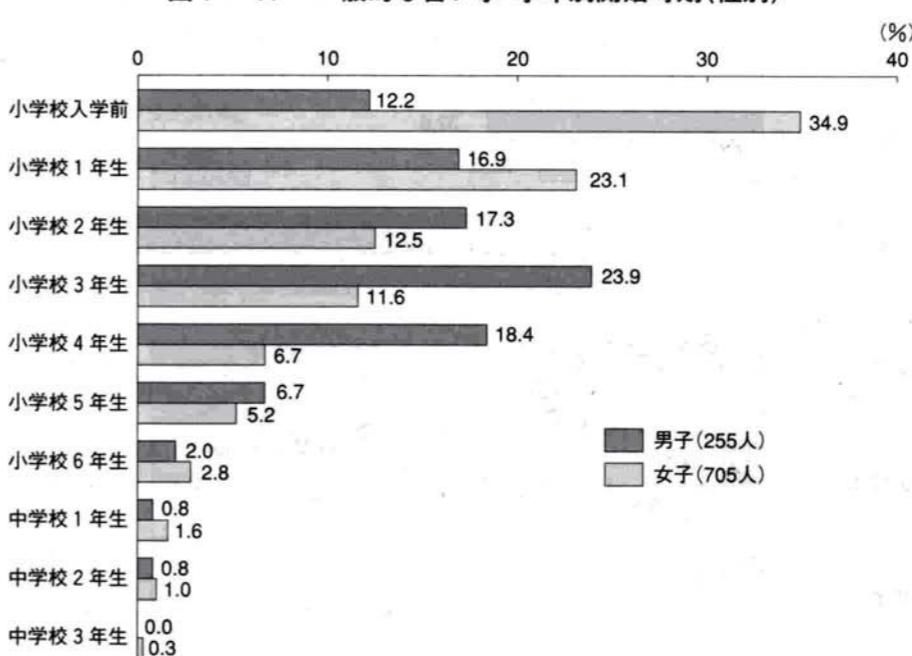
## Topic

②

●詳細はP.24~33へ

## 開始・終了時期はともに小学校時代がトップ。 女子の方が長く継続

図1-11 一般的な習い事 学年別開始時期(性別)



### ◆一般的な習い事の開始時期・開始理由

- ①開始時期…「小学校入学前」28.9%、「小学校」68.4%、「中学校」2.5%。女子の方が開始時期は早い。
- ②開始理由…1位「親からすすめられたので」41.5%、2位「自分がやりたいと思ったので」40.1%、3位「楽しそうだったため」29.0%だった。「友だちもやっていたので」は男子、「自分がやりたいと思ったので」は女子に多かった。

### ◆一般的な習い事の終了時期・終了理由・継続期間

- ①終了時期…「小学校入学前」0.1%、「小学校」44.9%、「中学校」30.3%、「高校」16.7%、「大学」1.3%、「まだやめていない」6.2%だった。約半数は中学校入学前にやめていた。

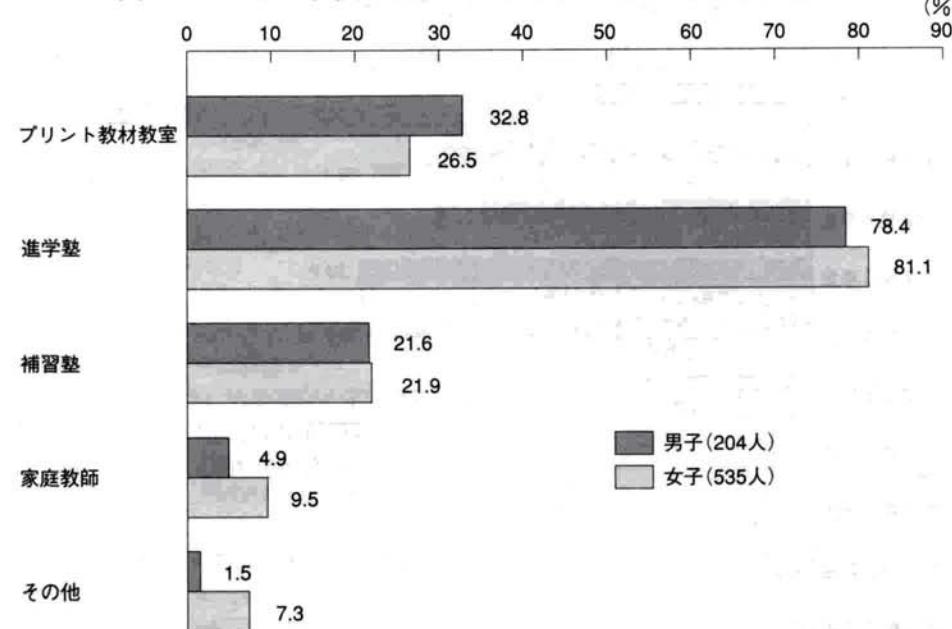
また、男子は小・中学校時代にほとんどの人がやめているが、女子は小学校から高校にかけてやめる時期が分散していた。また、まだやめていない人も女子に多かった。

- ②終了理由…1位「小学校のクラブ活動や中学校の部活動が忙しくなったため」24.7%、2位「受験勉強との両立が難しくなったため」24.4%、3位「その他」22.4%だった。
- ③継続期間…継続期間5年未満が約4割、5年以上が6割弱で、長い期間習い事を続けているの方が多い。また、継続期間は女子の方が長く、「5年以上」続けている女子が64.4%に対して、男子は34.1%だった。

Topic 3 ● 詳細は P.36 ~ 40 へ

**学習系習い事の経験者は7割。  
進学塾経験者が多い**

図2-3 小・中学校時代にしていた学習系習い事(性別)(複数回答)



#### ◆学習系習い事経験者のトップは進学塾

- ①小・中学校時代に学習系習い事をしていた人は73.1%。

②経験者の多い上位5位…1位「進学塾」80.3%、2位「プリント教材教室」28.5%、3位「補習塾」21.7%、4位「家庭教師」8.4%、5位「その他」5.7%。進学塾経験者が多いため。

◆最もやっていてよかったと思う学習系  
習い事のトップは進学塾

- ①経験者に占める最もやっていてよかったと思う人の割合…1位「進学塾」76.0%、2位「その他」69.9%、3位「補習塾」60.2%、4位「プリント教材教室」45.5%、5位「家庭教師」35.5%だった。進学塾は経験者が多いためでなく、最もやっていてよかったと思う人も多い、満足度の高い学習系習い事といえる。

②月謝…1万円以上が6割強。男女差はなかった。

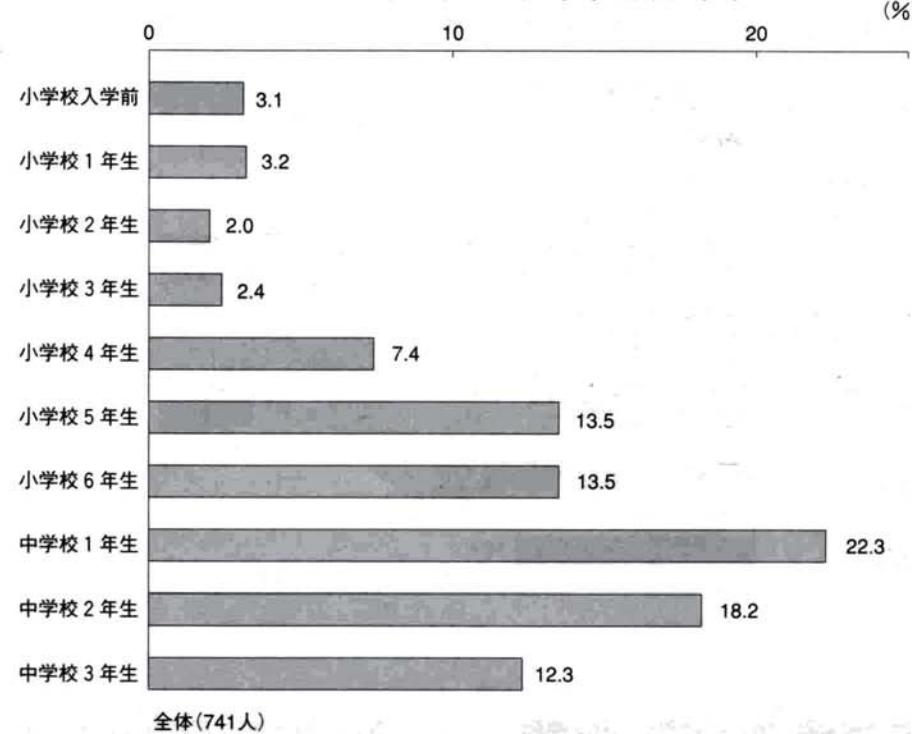
③交通手段…トップは自転車。一般的な習い事に比べて、電車・バスの割合が高かった。

④教室から家までの時間数…20分未満が6割。女子の方が時間がかかっている。

Topic 4 ● 詳細は P.41 ~ 49 へ

学習系習い事は中学校で開始。  
受験が終わるとやめている

図 2-9 学習系習い事 学年別開始時期



#### ◆学習系買い物の開始時期・開始理由

- ①開始時期…「小学校入学前」3.1%、「小学校」42.1%、「中学校」52.9%。開始時期のピークは中学校1年生。男子の方が開始時期が早く、「小学校」の割合が高かった。

②開始理由…1位「志望校合格のため」49.5%、2位「学校でいい成績をとるため」43.3%、3位「学校の授業がわかりやすくなるようにするため」35.1%だった。男子の方が学校での役立ち度を強く求めていた。

◆学習系習い事の終了時期・終了理由・  
継続期間

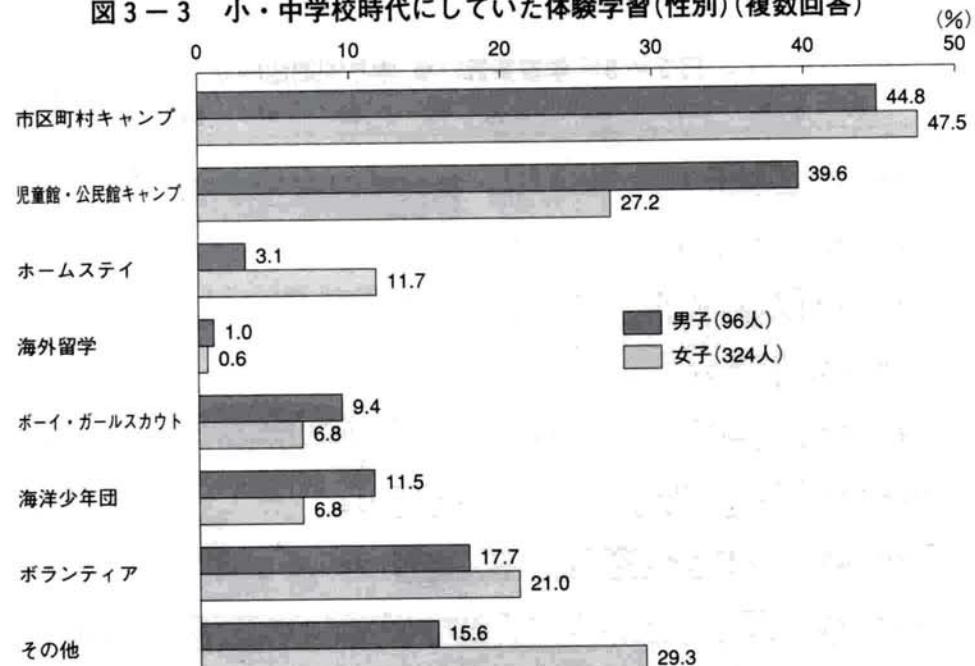
- ①終了時期…「小学校」16.3%、「中学校」65.7%、「高校」16.1%。中学校3年生でやめる人が多かった。

②終了理由…1位「予定していたコース・クラスが終わったため」46.2%と「その他」36.0%に集中していた。「その他」の理由は、志望校合格がほとんどだった。

③継続期間…継続期間は短く、3年未満でやめる人が約6割だった。

体験学習参加者は4割。参加頻度は低い

図3-3 小・中学校時代にしていた体験学習(性別)(複数回答)



◆体験学習経験者のトップは、市区町村キャンプ

- ①小・中学校時代に体験学習に参加したことのある人は41.5%。

②経験者の多い上位5位…1位「市区町村キャンプ」46.9%、2位「児童館・公民館キャンプ」30.0%、3位「その他」26.2%、4位「ボランティア」20.2%、5位「ホームステイ」9.8%だった。

◆最もやっていてよかったと思う  
体験学習のトップはホームステイ

- ①経験者に占める最もよかったですの割合…1位「ホームステイ」78.0%、2位「ボーイ・ガールスカウト」77.4%、3位「その他」75.5%、4位「市区町村キャンプ」65.0%、5位「海洋少年団」60.6%だった。市区町村キャンプは参加経験者が多いわりには、満足している人がそれほど多くはない。

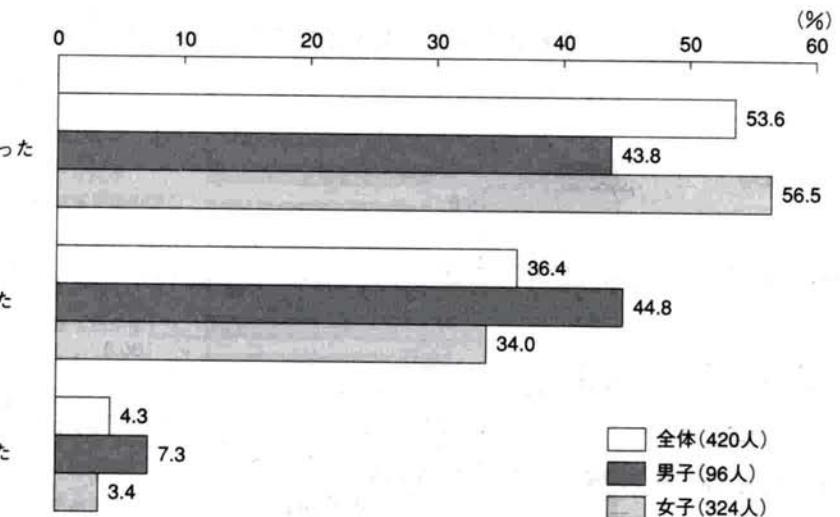
②参加費…低額層と高額層に分かれた。参加費0円（無料）が28.3%というのは体験学習の特徴といえる。

③開催頻度…定期的に「年に数回」35.2%がトップ。頻繁に開催されていない。

④子どもだけで参加し（78.1%）、宿泊を伴う場合（72.4%）が多かった。

体験学習はとても楽しかった

図3-21 体験学習 参加しているときの気持ち(全体・性別)



◆体験学習の参加時期・参加理由

- ①参加時期…「小学校入学前」2.4%、「小学校」72.1%、「中学校」21.7%。開始時期のピークは小学校3年生。小学校時代は男子、中学校時代は女子の方が多い。

②参加理由…1位「楽しそうだったため」53.6%、2位「自分がやりたいと思ったので」31.4%、3位「友だちもやっていたので」24.5%だった。

◆体験学習の終了時期・終了理由・  
参加しているときの気持ち

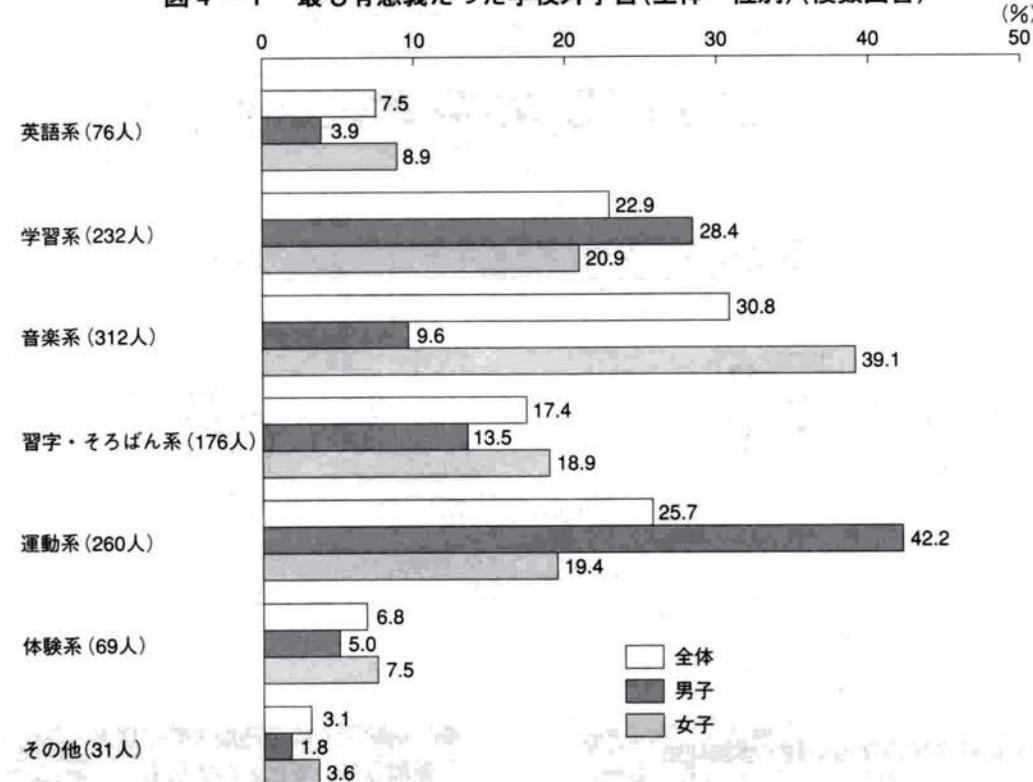
- ①終了時期…「小学校」38.8%、「中学校」10.2%、「高校」3.3%。小学校6年生でやめる人が多かった。

②終了理由…1位「予定していたコース・クラスが終わったため」23.6%、「その他」21.4%の割合が高かった。「その他」の理由は参加対象学年からはずれたためが多かった。

③参加しているときの気持ち…「とても楽しかった」53.6%、「まあ楽しかった」36.4%、「楽しくなかった」4.3%と、楽しかった人が9割だった。体験学習は楽しい思い出として残っているようだ。

最も有意義な影響を受けたのは、  
男子が運動系で、女子が音楽系

図4-1 最も有意義だった学校外学習(全体・性別)(複数回答)



◆最も有意義なものは音楽系がトップ

7分野別に最も有意義だったと思うものを高い順にみてみると、「音楽系」30.8%が最も高く、次いで「運動系」25.7%、「学習系」22.9%、「習字・そろばん系」17.4%、「英語系」7.5%、「体験系」6.8%の順であった。男女別に見ると、男子では運動系が高く(42.2%)、女子では音楽系が高い(39.1%)。

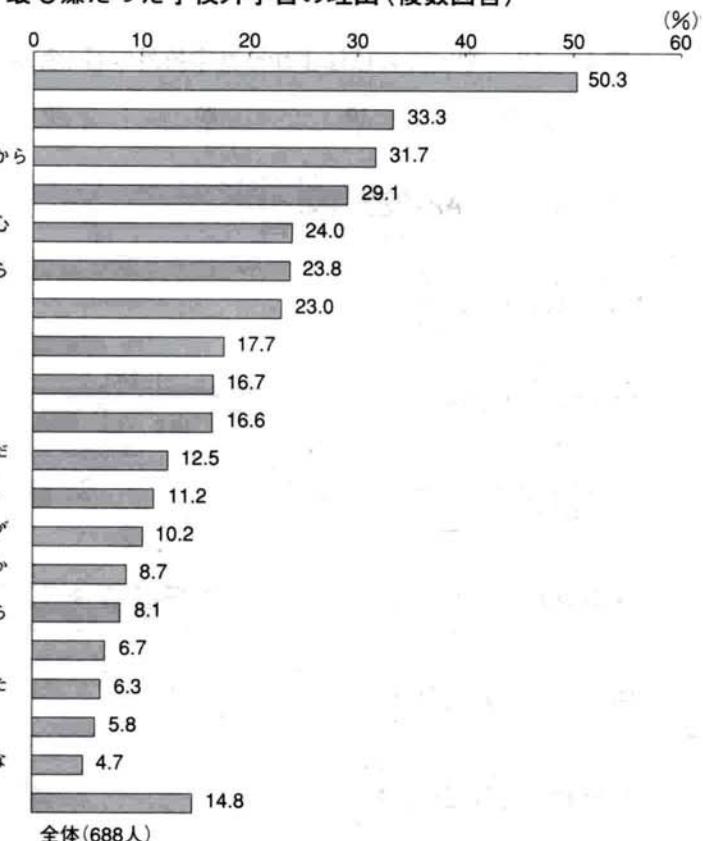
種目別では、1位「楽器」28.9%（音楽系）、2位「進学塾」13.0%（学習系）、3位「習字」12.4%（習字・そろばん系）、4位「スイミングスクール」11.5%（運動系）だった。

◆精神的な満足感は、有意義な評価につながりやすい

有意義な影響について4段階で見てみると、「とてもそう思う」と「そう思う」を合わせて8割以上だった項目は、「何かを成し遂げる達成感を知った」87.0%、「何かが具体的にできるようになった」84.6%、「何かを楽しむことを知った」82.3%、「何かに一生懸命になる体験をした」81.7%、「自分のいいところを見つけた」80.5%であった。達成感の獲得・楽しむ経験・一生懸命やった体験など、精神的な満足感につながっているものが多い。

最も嫌な理由は、「練習が苦痛」

図4-7 最も嫌だった学校外学習の理由(複数回答)



◆運動系は、「最も有意義」「最も嫌」のどちらの評価も高い

分野別に嫌だったとする割合の高い順に見てみると、「運動系」19.8%が最も高く、次いで「学習系」17.2%、「音楽系」12.3%、「習字・そろばん系」11.3%、「英語系」3.6%、「体験系」1.4%の順であった。運動系は、「最も有意義」「最も嫌」のどちらでも数値が高くなっている。

種目別では、1位「楽器」11.5%、2位「スイミングスクール」11.4%、3位「進学塾」9.9%、4位「そろばん」5.9%だった。

◆最も嫌な理由は、「練習が苦痛」

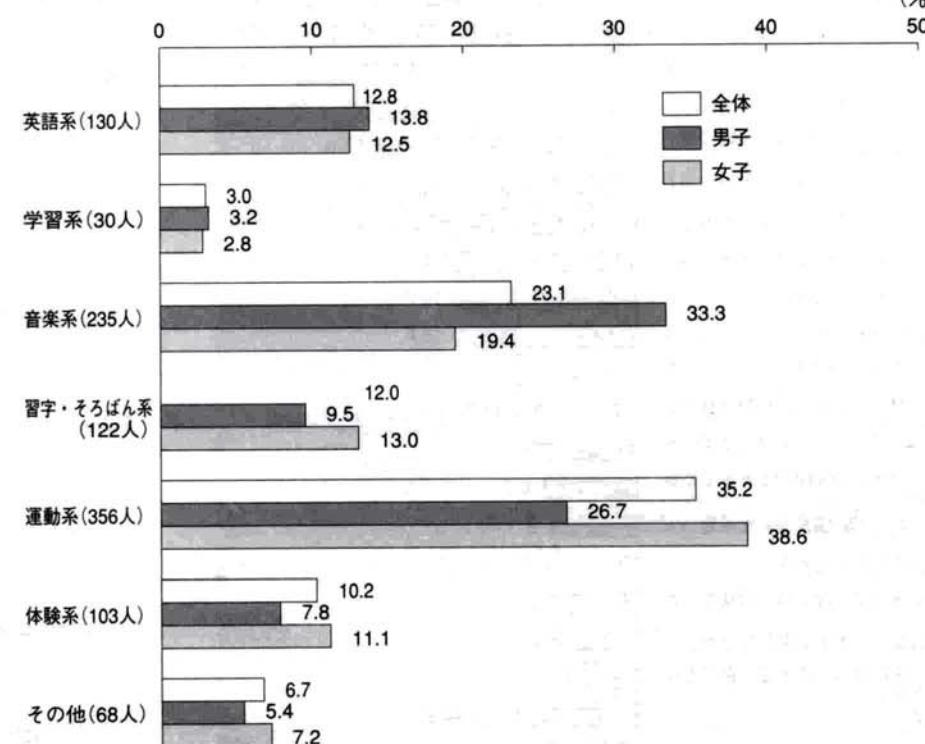
最も嫌な評価として高かったのは「練習が苦痛だったから」50.3%、次いで「上達や進歩がなかったから」33.3%、「自分からやりたいと思わなかったから」31.7%、「とにかく楽しくなかったから」29.1%であった。

これらから、嫌いになる要素としては、苦痛な練習を必要とすること、目に見える成果を得られないこと、自主的に関わっていないこと、楽しく取り組めないことなどが挙げられる。

## Topic 9 ● ..... ● 詳細は P.80~83へ

## やっておけばよかった理由は、「小さいときでないと身につかない」

図4-10 やっておけばよかった学校外学習(全体・性別)(複数回答)



◆やっておけばよかったものは、男子が音楽系で、女子が運動系の習い事

分野別にやっておけばよかったと思うものを高い順に見てみると、「運動系」35.2%が最も高く、次いで「音楽系」23.1%、「習字・そろばん系」12.0%、「英語系」12.8%、「体験系」10.2%、「学習系」3.0%の順であった。

種目別では、1位「楽器」22.9%、2位「英会話」12.8%、3位「バレエ」11.3%、4位「スイミングスクール」9.2%だった。

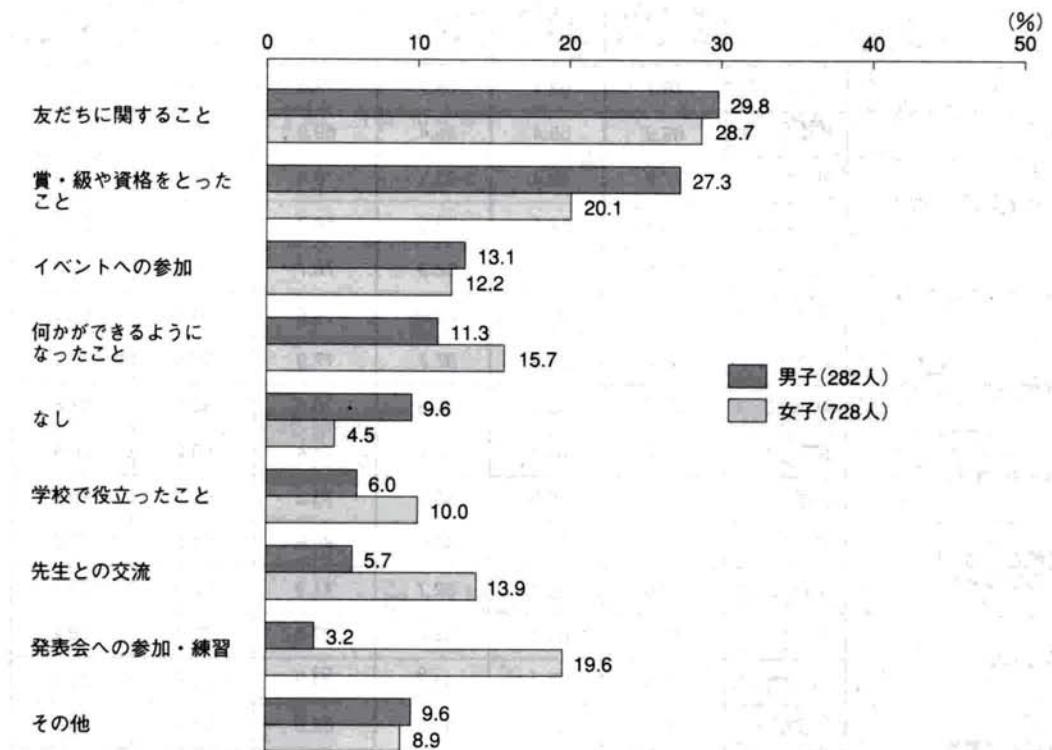
◆やっておけばよかった理由は、「小さいときでないと身につかない」がトップ

やっておけばよかった理由で最も高いのは、「小さいときでないと身につかない」38.9%、次いで「できたらかっこいい」19.3%、「力がつく(創造力など)」15.3%、「体作りに役立つ」12.5%だった。男女で10ポイント以上の差は見られなかった。8項目のうち6項目で、女子が男子を上回っている。

## Topic 10 ● ..... ● 詳細は P.84~86へ

## 「友だち」「賞・級・資格をとったこと」などがいい思い出

図4-17 いい思い出の内容(性別)(複数回答)



◆「友だちに関すること」がいい思い出

具体的ないい思い出の内容で多く挙げられた順にみると、「友だちに関すること」28.9%が最も高く、次いで「賞・級や資格をとったこと」22.0%、「発表会への参加・練習」15.0%、「何かができるようになったこと」14.4%、「イベントへの参加」12.4%、

◆「先生との交流」11.5%、「学校で役立ったこと」8.9%だった。

男女別で10ポイント以上の差があるものは、「発表会の参加・練習」のみで、男子3.2%、女子19.6%で、差が16.4ポイントだった。その他の項目では、特に目立った差は見られなかった。

## 小・中学校時代の有意義な体験は、 大学生活の充実につながる

表4-5 今の生活と学校外学習から受けた有意義な体験との関連

|                 |         | 張り合いを感じている | わくわくすることが多い | 他の人より勉強している | 友人づきあいは満足している | 趣味・サークルに熱中している | 将来につきたい仕事がある |
|-----------------|---------|------------|-------------|-------------|---------------|----------------|--------------|
| 何かに一生懸命になる体験を   | した      | 76.1       | 62.1        | 36.7        | 77.8          | 69.3           | 76.0         |
|                 | しなかった   | 69.9       | 58.4        | 36.4        | 69.9          | 56.1           | 71.1         |
| 何かを楽しむことを       | 知った     | 77.6       | 63.4        | 37.1        | 78.4          | 68.4           | 77.0         |
|                 | 知らなかった  | 62.4       | 52.1        | 33.9        | 66.7          | 60.6           | 66.7         |
| 何かができるように       | なった     | 75.6       | 61.9        | 38.3        | 76.7          | 67.3           | 76.3         |
|                 | ならなかった  | 70.4       | 57.0        | 26.8        | 74.6          | 64.1           | 69.0         |
| 自分のいいところを       | 見つけた    | 76.2       | 63.9        | 37.7        | 77.9          | 68.5           | 76.9         |
|                 | 見つけなかった | 69.7       | 50.8        | 31.9        | 70.8          | 60.5           | 67.6         |
| 小・中学校の授業に       | 役立った    | 75.2       | 62.2        | 35.7        | 77.4          | 66.2           | 76.4         |
|                 | 役立たなかった | 73.8       | 58.5        | 39.3        | 73.2          | 69.0           | 70.7         |
| 仲間と一緒に何かをする楽しみを | 知った     | 78.6       | 63.9        | 40.0        | 80.6          | 71.0           | 77.0         |
|                 | 知らなかった  | 70.8       | 58.4        | 32.7        | 71.9          | 62.3           | 73.4         |
| 自立心が            | ついた     | 77.7       | 64.0        | 38.0        | 77.8          | 70.4           | 78.2         |
|                 | つかなかった  | 70.6       | 57.7        | 34.7        | 74.3          | 61.9           | 70.4         |
| 性格が積極的に         | なった     | 82.1       | 67.5        | 40.7        | 82.0          | 71.1           | 78.9         |
|                 | ならなかった  | 68.3       | 55.8        | 32.9        | 71.3          | 63.1           | 71.7         |
| 何かを成し遂げる達成感を    | 知った     | 77.3       | 62.6        | 36.8        | 77.6          | 68.4           | 75.5         |
|                 | 知らなかった  | 59.0       | 53.3        | 36.1        | 68.9          | 57.4           | 73.0         |

#### ◆今の生活について

今の生活について「とてもそう思う」と「そう思う」を合わせた数値が7割以上の項目は、「友人とのつきあいは満足している」75.5%、「将来つきたいと思う仕事がある」74.8%、「今の生活に張り合いを感じている」74.6%だった。「他の人と比べてよく勉強している」36.7%を除き、すべて6割以上であり、おむね肯定的な生活を送っている人が多いようだ。

◆小・中学校時代に有意義な体験をした人は、現在も肯定的な生活を送っている

小・中学校時代の体験と、大学生活との関係を見ると、有意義な体験をした人は、現在も肯定的な生活を送っている。「何かに一生懸命になった」「何かを楽しんだ」「何かを成し遂げた」などの体験がある人の方が、ない人に比べて充実した張り合いのある生活を送っている。

## ▷ 基本的属性

- ◆調査対象者のほとんどが、大学在学中の2年生・3年生である。(図1、2)
  - ◆対象者の性別は、男子が27.8%、女子が71.9%で、女子の割合が高い。(図3)
  - ◆対象者の年齢は、19歳～21歳に集中している。  
19歳17.8%、20歳48.5%、21歳30.6%であった。(図4、5)
  - ◆中学校時代に部活動に入っていたかどうかについては、全体で運動部57.7%、文化部32.1%、両方に入っていた6.5%、入ったことはない2.9%だった。  
男女別では、男子は運動部に入っていた割合が高く(80.1%)、逆に女子では文化部に入っていた割合が高い(39.4%)。(図6)
  - ◆小・中学校時代の成績については、いずれも上の方と答えた割合が最も高くなっている。(図7、8)

図 1 所属学年

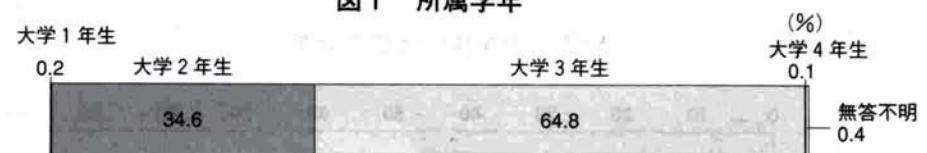


図2 所属学年(性別)

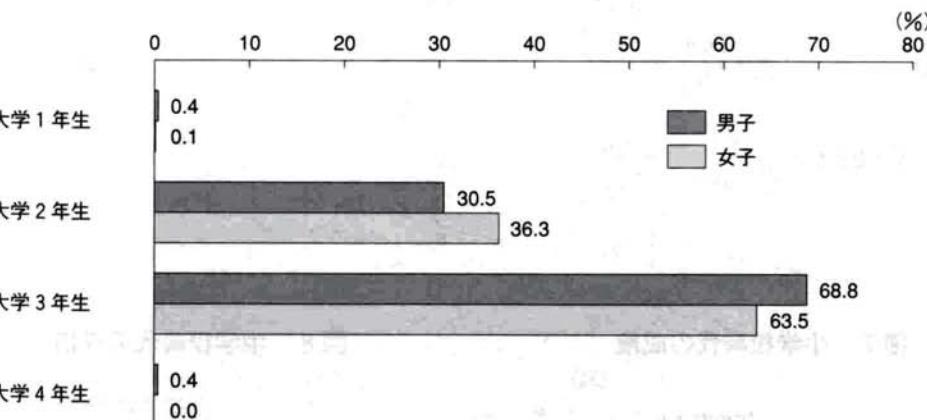


図3 性別

